

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッピ

コード番号 7932 URL <http://www.nippi-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 隆男

問合せ先責任者 (役職名) 経理担当常務取締役 (氏名) 河村 桂作

TEL 03-3888-5117

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,612	6.9	1,029	△13.0	995	△0.5	479	△70.3
25年3月期第2四半期	19,290	△4.0	1,184	△11.4	1,000	△3.9	1,617	151.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 771百万円 (△51.8%) 25年3月期第2四半期 1,599百万円 (190.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	41.63	—
25年3月期第2四半期	143.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	60,487	20,999	33.9
25年3月期	60,331	20,222	32.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 20,514百万円 25年3月期 19,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,300	6.5	2,000	5.1	1,700	△0.5	900	△30.4	78.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	12,000,000 株	25年3月期	12,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	485,278 株	25年3月期	719,622 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	11,515,594 株	25年3月期2Q	11,281,625 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府、日銀の行なう経済・金融政策に後押しされ、輸出環境の改善や消費マインドの高揚感がみられ、全体としては景気回復が見られる一方で、輸入原材料価格やエネルギー価格の高騰により内需産業にとっての市場環境は大変厳しい状況であります。さらには、欧州債務問題の長期化や中国のほか新興国の経済減速などの影響も依然として不透明な状況にあります。

このような経済情勢下において、当第2四半期連結累計期間の売上高は、コラーゲン・ケーシングや有機食材などが好調に推移したことにより、前年同四半期に比べ、1,321百万円増加し、20,612百万円(前年同四半期比6.9%増)となりました。

一方で、原料相場の高止まりに加え、円安による輸入コストやエネルギーコストの上昇などが製造原価や売上原価を押し上げ、売上総利益は、微増(同0.4%増)に留まりました。

営業利益は、人件費、広告宣伝費、研究開発費などが171百万円増加したことにより、1,029百万円(同13.0%減)となりましたが、経常利益は、支払利息など営業外費用が151百万円減少したことなどにより、995百万円(同0.5%減)となりました。

また、前年同四半期では固定資産売却益1,714百万円が計上されているため、特別利益が1,665百万円減少した一方で、税金費用が442百万円減少したことなどにより、四半期純利益は、1,137百万円減少し、479百万円(同70.3%減)となりました。

セグメントの状況につきましては以下の通りであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

コラーゲン・ケーシングの売上高は、原料、燃料価格の高騰などによる製造コストの上昇があったものの、世界的な天然羊腸の供給不足や新製品の市場投入などを背景に国内販売は、出荷数量、売上金額ともに伸長しました。また、輸出向けの生産の一部を国内向けに振り替えるなど調整を行ったため、輸出品の数量は減少したものの、価格の改訂や輸出為替の影響などにより売上金額は増加しました。

この結果、売上高は、5,245百万円(前年同四半期比19.9%増)、営業利益は、1,232百万円(同29.9%増)となりました。

② ゼラチン関連事業

ゼラチン、ペプタイド原料については、原料価格の高止まりに加え、円安によるコスト増が収益を圧迫しており、販売価格への転嫁を図っているものの、未だ浸透しておらず厳しい状況で推移しました。

この結果、売上高は、3,498百万円(同5.3%減)、営業利益は、119百万円(同73.1%減)となりました。

③ 化粧品関連事業

コラーゲン化粧品の売上高は、コラーゲン由来の化粧品市場や健康食品市場の新規参入も含め競争は激化しており、市場には更なる多様化へのニーズが拡大しつつあります。このような中、高品質のコラーゲン化粧品や健康食品に特化した商品揃えで、新規顧客の獲得、拡販に注力してまいりましたが、厳しい状況で推移しました。

この結果、売上高は、1,961百万円(同9.4%減)、営業利益は、33百万円(同84.5%減)となりました。

④ 皮革関連事業

自動車用革の売上高は、自動車関連産業の回復により順調に推移しました。また、靴用革の売上高は、紳士向けが苦戦したものの、婦人向けは新規の顧客を獲得するなど、売上が伸長しました。

この結果、売上高は、5,180百万円(同1.2%増)、営業利益は、133百万円(同58.7%増)となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

賃貸・不動産部門は、再開発を進めている東京都足立区及び大阪市浪速区の土地で引き続き暫定事業として賃貸事業を継続しておりますが、平成25年1月より三菱地所株式会社への賃貸を開始したことにより、売上高、収益面ともに増加しました。

この結果、売上高は、226百万円(同22.2%増)、営業利益は、116百万円(同56.2%増)となりました。

⑥ 食品その他事業

輸入建材、イタリア食材、iPS細胞関連、リンカー、除染用圧縮袋を含む化成品は、堅調に推移しました。有機穀物は、年初来の穀物相場高騰による買い控えの反動により数量、金額ともに急伸びしました。

この結果、売上高は、4,500百万円(同19.8%増)、営業利益は、202百万円(同24.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、60,487百万円となり、前連結会計年度末と比べ155百万円の増加しました。

① 資産の部

流動資産は、現金及び預金、商品及び製品などの減少により、前連結会計年度末と比べ498百万円減少し、18,970百万円となりました。

固定資産は、テクノセンターの耐震補強工事や建設仮勘定の増加などにより、有形固定資産が699百万円増加しましたが、投資有価証券の売却により、投資その他の資産は42百万円減少しました。これにより、前連結会計年度末と比べて659百万円増加し、41,488百万円となりました。

② 負債の部

流動負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金、未払法人税等が971百万円減少しましたが、設備関係支払手形の増加により、その他流動負債は253百万円増加しました。これにより、前連結会計年度末と比べ751百万円減少し、19,181百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が増加したことにより、前連結会計年度末と比べ130百万円増加し、20,306百万円となりました。

③ 純資産の部

純資産は、資本剰余金、利益剰余金、自己株式、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定などが増加したことにより、前連結会計年度末と比べ777百万円増加し、20,999百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、本日(平成25年11月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,275	4,098
受取手形及び売掛金	7,857	7,820
商品及び製品	4,949	4,511
仕掛品	518	548
原材料及び貯蔵品	864	1,136
未収還付法人税等	1	2
未収消費税等	125	81
繰延税金資産	409	355
その他	526	476
貸倒引当金	△60	△60
流動資産合計	19,468	18,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,088	7,375
機械装置及び運搬具(純額)	622	735
土地	22,689	22,689
リース資産(純額)	188	159
建設仮勘定	5,116	5,450
その他(純額)	138	132
有形固定資産合計	35,843	36,543
無形固定資産		
リース資産	49	37
その他	158	172
無形固定資産合計	207	210
投資その他の資産		
投資有価証券	4,263	4,269
長期貸付金	280	257
繰延税金資産	9	13
破産更生債権等	1,447	1,436
その他	402	327
投資損失引当金	△53	—
貸倒引当金	△1,571	△1,569
投資その他の資産合計	4,777	4,734
固定資産合計	40,828	41,488
繰延資産	34	29
資産合計	60,331	60,487

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,250	7,732
短期借入金	8,295	8,244
1年内償還予定の社債	470	470
リース債務	82	76
未払法人税等	883	479
未払消費税等	56	51
繰延税金負債	33	11
賞与引当金	412	418
役員賞与引当金	57	52
その他	1,391	1,645
流動負債合計	19,933	19,181
固定負債		
社債	1,440	1,205
長期借入金	8,668	8,996
長期未払金	1,845	1,873
リース債務	168	132
繰延税金負債	763	846
再評価に係る繰延税金負債	4,657	4,657
退職給付引当金	1,685	1,699
役員退職慰労引当金	466	417
資産除去債務	5	5
その他	474	472
固定負債合計	20,175	20,306
負債合計	40,109	39,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	1,153	1,214
利益剰余金	6,792	7,152
自己株式	△226	△158
株主資本合計	11,219	11,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251	401
繰延ヘッジ損益	90	56
土地再評価差額金	8,199	8,197
為替換算調整勘定	9	151
その他の包括利益累計額合計	8,550	8,806
少数株主持分	452	484
純資産合計	20,222	20,999
負債純資産合計	60,331	60,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	19,290	20,612
売上原価	14,381	15,685
売上総利益	4,909	4,926
販売費及び一般管理費	3,725	3,896
営業利益	1,184	1,029
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	21	44
為替差益	—	2
持分法による投資利益	162	137
その他	28	25
営業外収益合計	214	212
営業外費用		
支払利息	275	198
手形売却損	17	16
為替差損	34	—
その他	70	31
営業外費用合計	398	247
経常利益	1,000	995
特別利益		
固定資産売却益	1,714	0
投資有価証券売却益	—	116
工場誘致奨励金	67	—
特別利益合計	1,781	116
特別損失		
固定資産除却損	19	0
固定資産売却損	59	—
投資有価証券売却損	0	—
投資損失引当金繰入額	13	—
災害による損失	20	—
子会社整理損	—	5
その他	0	—
特別損失合計	113	6
税金等調整前四半期純利益	2,668	1,105
法人税、住民税及び事業税	742	527
法人税等調整額	281	54
法人税等合計	1,024	581
少数株主損益調整前四半期純利益	1,643	523
少数株主利益	26	44
四半期純利益	1,617	479

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,643	523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	154
繰延ヘッジ損益	△26	△43
為替換算調整勘定	9	141
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△4
その他の包括利益合計	△44	247
四半期包括利益	1,599	771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,580	736
少数株主に係る四半期包括利益	18	34

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,668	1,105
減価償却費	455	449
繰延資産償却額	8	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	13
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△13
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△37	13
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	△49
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	13	—
受取利息及び受取配当金	△24	△46
支払利息	275	198
為替差損益 (△は益)	30	△2
持分法による投資損益 (△は益)	△162	△137
有形固定資産除却損	19	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,654	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△116
子会社整理損	—	5
その他の特別損益 (△は益)	20	0
売上債権の増減額 (△は増加)	327	39
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△172	146
仕入債務の増減額 (△は減少)	464	△523
未払消費税等の増減額 (△は減少)	37	76
その他の資産の増減額 (△は増加)	△32	△79
その他の負債の増減額 (△は減少)	71	△110
小計	2,321	975
利息及び配当金の受取額	45	83
利息の支払額	△235	△165
法人税等の支払額	△185	△954
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,946	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	0	576
有形固定資産の取得による支出	△1,153	△389
有形固定資産の売却による収入	4,230	0
無形固定資産の取得による支出	—	△0
貸付けによる支出	△2	△3
貸付金の回収による収入	31	28
その他	13	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,117	225

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△248	△310
長期借入れによる収入	2,510	3,000
長期借入金の返済による支出	△5,793	△2,412
社債の発行による収入	100	—
社債の償還による支出	△330	△235
リース債務の返済による支出	△37	△42
長期未払金の返済による支出	△211	△231
自己株式の取得による支出	△0	△3
配当金の支払額	△83	△119
少数株主への配当金の支払額	△4	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,098	△356
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	965	△177
現金及び現金同等物の期首残高	4,010	4,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,109	3,925

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。